

中 緑が丘

校 自主
健康
訓 友愛

No.12
文責：鈴木

文化祭（予告編）乞うご期待！

いよいよ今週末10月23日（土）は、岩泉中二大行事の文化祭です。生徒会執行部のリードのもと、学級や係で協力しながら当日の成功に向けて準備を進めています。

今年の文化祭テーマは「演伝歌」（えんてんか）です。生徒会では「体育祭のときのような熱い思いをもって取り組みたい。」との思いから「炎天下」（えんてんか）の音をとり、漢字には「演技や歌で、生徒や保護者の皆様に思いを伝えたい。」という気持ちを込めたとのこと。

本号では、本番が間近にせまった生徒たちの様子（写真）を交えながら、文化祭の予告編をお伝えします。

全校劇「湧窟の果てに」

この物語は、岩泉町の誇りである龍泉洞（湧窟）が舞台となります。昭和初期の観光地化に向けた当時の方々の苦労や取組にスポットを当て、自然との共存について考えていくこととしました。これは史実をもとにしたフィクションで、平成30年度の先輩たちも発表をしています。生徒たちは「役者組」「劇中唄組」「背景画組」「舞台セット・小道具組」「衣装・メイク組」「照明組」「音響・プロジェクター組」のいずれかに所属し全校で劇をつくり上げます。



演技映像を見ながら改善点を相談



舞台背景の色塗り



新聞紙で石づくり

学級合唱（合唱コンクール）

今年の合唱コンクールは、学級間の比較による賞（最優秀賞など）ではなく、各学年に応じた審査基準を設け、全ての学級に「金賞・銀賞・銅賞」のいずれかを授与する方式になります。また指揮者賞は設けません。

	曲名	指揮者	伴奏者
1A	怪獣のバラード	箱石 陽大	有原 実花
2A	fight	畠山直太郎	佐々木悠琥
2B	ガーネット	上日向諒亮	三上 滉矢
3A	足跡	池元 祥真	細工藤百花

審査員

伊藤京花先生
（岩泉高校 音楽科）
鈴木雅孝（校長）
田村綺菜（音楽科）

全校合唱 混声三部合唱「ほらね、」

この曲は、東日本大震災のあと、歌で日本をつなげようという企画「歌おう NIPPON

プロジェクト」のために書き下ろされた作品です。東日本大震災から10年、台風10号被害から5年という節目に、これを全校生徒で歌います。

震災の被災者はもとより、現代社会の中で傷ついた多くの人々の心を癒す歌詞を、素敵なおメロディーに乗せて皆さんにお届けします。(指揮 長崎宗真 伴奏 三上陽楓)

全校制作 巨大壁画 (ゼンタングル)

生徒会主催の新しい取組です。林崎紗來さんがデザインした下絵を450等分し、一人あたり A4サイズ4~5枚を黒ペンで塗りつぶします。完成した壁画はオープニングセレモニーで発表しますので、どうぞお楽しみに。



合唱コンクール中間発表会



全校合唱 (宗真くん陽楓さん)



つなぎ合わせるゼンタングル

教科作品・文化部作品・わたしの主張・英語暗唱

体育館後方には、全校生徒の各教科作品(国語、技術、美術、家庭科)を展示します。文化部の生徒たちは、個人作品や学年作品を展示します。日常の学習や活動の成果をお見せする場です。生徒たちが心を込めて作った作品をご覧ください。

わたしの主張と英語暗唱は、残念ながらコロナの影響でコンクールが中止となりました。今回はたくさんの方々の前で発表できることになりとても嬉しく思います。

<私の主張>北村友香、中川原颯春 <英語暗唱>三上陽楓、三上滉矢

オープニングセレモニー (9:00~)

クロージングセレモニー (~15:00 予定)

生徒会執行部が様々な工夫を凝らして準備を進めています。

オープニングセレモニーの「文化祭見どころ紹介」では、映像を使って各学級や文化部、演劇の見どころをお伝えします。撮影の時は、みんなでワイワイと盛り上がりながら練習や本番を行っていました。それぞれの個性があふれる映像にご期待ください。

クロージングセレモニーでは、合唱コンクールの結果発表や、映像で振り返る文化祭、全校合唱「ほらね、」など、まさに文化祭のクライマックスです。

保護者の皆様、どうぞ最初から最後までごゆっくりお楽しみください。

県新人大会 陸上競技に出場!

10月16日(土)、17日(日)、宮古運動公園陸上競技場で行われた県新人大会の陸上競技に本校生徒が出場しました。毎回、地区の各大会で使用している競技場ですが、今回は県内の強豪選手が集い、これまで以上に緊迫感のある大会となりました。



共通男子 4×100mR 51秒17 (組5着)

(三上知宏、鈴口巧真、箱石陽大、佐藤巧乃介)

共通女子 4×100mR 58秒84 (組7着)

(内村愛菜、田鎖瑛帆、佐々木真央、畠山希望)

来シーズンにつながる素晴らしい走りでした。